

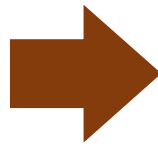
1月ビオトープ

月次報告

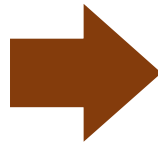


今月の作業内容：藻取り、水の入替え、落ち葉拾い、枝の剪定

藻取り、水の入替え



落ち葉拾い、枝の剪定



ビオトープ+1

☆アメンボの生態について

名前の由来は、飴のようなにおいがし、体つきも棒のようであることから「飴棒(アメンボ)」と名づけられました。

アメンボの足は4本足に見えますが、6本足です。中足と後足の先には細かい毛がたくさん生えており、体内から油が染み出ているので水をはじきます。体の軽さと油ではじく力で、アメンボは水面を自由に移動できます。春になれば水に潜り、水草の茎に産卵します。約10日で孵化すると、幼虫はすぐに水面に上がってきます。寒い冬は、水辺から離れて落ち葉の下などで冬を越しています。アメンボは、稲を枯らす害虫ウンカを退治してくれる益虫です。ウンカの幼虫が水面に落ちてくれば、その波紋を足で感じ取って近寄り、針のような口を差し込んで体液を吸ってしまいます。そのため、水面に波を立てると獲物と間違えて近づいてくる習性があります。流れのある水面でも同じ場所でじっとして、これは景色を見て自分の場所を維持しているという説があります。また、前足の振動で水面に波紋を作って交信したり、成長し羽が発達すると、水たまりなどにも飛んできたりします。

☆来月の作業予定☆

落ち葉拾い、枝の剪定、藻取り、水の入替え

